

航空自衛隊入間基地にてバス運転体験会を実施 任期制等自衛官を対象に就職支援へ

この度、西武バスにおいて、航空自衛隊と協力し、航空自衛隊入間基地において自衛官約 40 名を対象としたバス運転体験会を実施いたしました。

運転体験会は、11 月 8 日に実施し、入間基地内に大型バス 2 台を持ち込み、基地内駐車場に特設した「8 の字」コースにて、1 人約 5 分間大型バスの運転を体験していただきました。この取り組みは、大型二種免許の保有者数が年々減少し、当社でも採用活動に力を入れる中で、運転士職の魅力ややりがいを知っていただくほか、自衛官が再就職する際のキャリア形成に役立てていただくことを目的としています。約 40 名の自衛官の方に参加していただき、運転の難しさや楽しさ、また西武バスグループ養成制度についても理解を深めていただきました。



大型路線バスの運転を体験する自衛官の様子



自衛隊に持ち込んだ大型バスの様子

多くの自衛官は、50 代半ば以降（若年定年制自衛官）または 20 代～30 代半ば（任期制自衛官）で退職することになります。大型免許の有無を問わず、多くの自衛官の方に運転を体験してもらい、バス停留所に見立てたパイロンへの横付け停車や現役運転士との質疑応答など幅広く体験していただきました。今後も、西武バスグループでは、今回のような機会を幅広く設けるほか、運転士募集 CM の放映など、運転士確保に向けた様々な施策を強化し、積極的な採用活動を推進しています。加えて、自社研修所での研修制度の拡充をはじめ、引き続き、安全・安心の輸送サービスの実現に向け、より広く社会や地域の皆さまへの貢献に繋がる取り組みを進めてまいります。

多くの自衛官は、50 代半ば以降（若年定年制自衛官）または 20 代～30 代半ば（任期制自衛官）で退職することになります。大型免許の有無を問わず、多くの自衛官の方に運転を体験してもらい、バス停留所に見立てたパイロンへの横付け停車や現役運転士との質疑応答など幅広く体験していただきました。今後も、西武バスグループでは、今回のような機会を幅広く設けるほか、運転士募集 CM の放映な



説明を受ける自衛官の姿